

平成 20 年 2 月 1 日  
消 防 庁

## 平成 19 年度 消防防災機器の開発等及び消防防災科学論文に関する消防庁長官表彰 入選作品の決定及び表彰式の開催

### 1. 入選作品の決定

この度、消防防災機器の開発等及び消防防災科学論文に関する消防庁長官表彰について別紙のとおり入選作品を決定し、表彰式を開催することとなりました。

本表彰制度は、消防防災機器の優れた開発等を行った方及び消防防災科学に関する優れた論文を著した方を消防庁長官が表彰することにより、消防科学・技術の高度化と消防防災活動の活性化に資することを目的として、平成 9 年度から実施しています。

平成 19 年度においては、全国の消防機関、消防機器メーカー等から総計 69 編（機器の開発・改良 50 編、科学論文 19 編）の応募があり、選考委員会（委員長 亀井浅道 横浜国立大学教授）による厳正な審査の結果、別紙の 12 編を入選作品として決定しました。

### 2. 表彰式の日程

- (1) 日 時：平成 20 年 2 月 13 日（水）14 時から
- (2) 場 所：スクワール麹町 3 階「錦」  
〒102-0083 東京都千代田区麹町 6 丁目 6 番地
- (3) 出席予定者  
消防庁長官  
消防庁次長  
消防庁予防課長  
消防庁消防技術政策室長  
消防庁消防研究センター所長

<問い合わせ先> 消防庁消防大学校消防研究センター 研究企画部：山田、岩田 TEL：0422-44-8331 FAX：0422-42-7719
---

## 平成19年度「消防防災機器の開発等及び消防防災科学論文に関する消防庁長官表彰」

## 入選作品

(受付整理番号順)

賞	部	題名及び概要	氏名	所属
優 秀 賞	消 防 吏 員 ・ 消 防 団 員 の 部	<p><b>○吸管延長器具の開発について</b></p> <p>ポンプ車部署可能位置から吸管が届かない水利が多く、2本の吸管を延長し可搬ポンプを降ろして吸水するなど、多くの労力、時間を要していた。そこで、一人でも簡単に素早く吸管を延長できる器具を考案試作したものの。</p>	森 誠、 村本 満昭、 江草 恒志	備北地区消防組合三次 消防署
		<p><b>○背負い式手動ポンプの給水器具(マルチ給放水アタッチメント)の開発について</b></p> <p>従来の背負い式手動ポンプで給水する際は、ポンプを降ろし、給水口の蓋を開閉する必要があり、時間・労力を要した。そこで、背負ったまま一人で、複数の人が同時に給水可能な器具を考案したものの。</p>	若林 孝紀	備北地区消防組合三次 消防署
		<p><b>○サバイバーネットの開発</b></p> <p>従来、要救助者の搬送方法は、専用搬送器具を用いて搬送していたが、予期せぬ事態により対処できない場合が発生した。そこで、いかなる時も即座に対応、搬送できる風呂敷のように変幻自在に形を変える搬送用ネットを開発したものの。</p>	奥迫 正康、 刈山 賢一	呉市消防局西消防署
		<p><b>○結束器の改良</b></p> <p>従来の結束器はロープを緩ませると支点位置がずれてしまう、また懸垂降下の際には便利であるが、救出ロープとして使用しにくい等の問題があった。そこでロープレスキューで使用している結束器の形状を改良することでより利便性を向上させたものの。</p>	山田 誠	福岡市消防局
		<p><b>○ゲーム感覚を取り入れたタウンウォッチングについて</b></p> <p>災害時に有効な内容が記載されている防災マップを利用し、ゲーム感覚を取り入れたタウンウォッチングをすることで、防災の備えが把握できる提案を行った。</p>	杜若 一郎、 細見 嘉孝、 松本 政治、 中村 達也、 岩本 達也、 塩崎 嘉津也	京都市消防局右京消防 署
		<p><b>○より迅速かつ的確な放水活動を行うための「トレーニングシートの作成」について</b></p> <p>迅速に火災現場に到着し、的確な放水活動を実現する上では、出動地域の消火栓等の水利所在を含めた地域事情を十分に把握することが必要であり、そのための効果的なトレーニングシートを作成した。</p>	井上 博之	京都市消防局西京消防 署

賞	部	題名及び概要	氏名	所属
		<p><b>○消防指令管制システム停止時における緊急対応システムの開発</b></p> <p>災害救急司令センターの指令システム障害時において、災害住所の把握のために住宅地図からの検索作業と併用して、目標物の住所検索ソフトを使用することで、災害住所の誤認を防ぐとともに迅速な出動指令を可能とするシステムを提案した。</p>	矢野 宏則	福岡市消防局
優 秀 賞	一 般 の 部	<p><b>○自己完結型バイオリサイクルトイレ『オーガニックビュー』の開発</b></p> <p>地震等の災害時は、水洗トイレや備蓄トイレなど使用不可能になる場合がある。そこで、微生物の働きで汚水を浄化し、洗浄水へトリサイクルする装置を備える自己完結型・自己処理型のトイレを開発したものを。</p>	高嶋 康豪	株式会社 地球環境秀明
		<p><b>○減圧装置内蔵型消火栓開閉弁の開発</b></p> <p>屋内消火栓の放水圧力を調節するため、閉止機構のある減圧弁が考案製作されているが、配管途中や消火栓弁とホースの間等に取付けるため、余分スペースが必要で普及の妨げとなっていた。そこで、閉止及び減圧装置を兼ね備えた一体型の弁を開発したものを。</p>	奥田 忠裕	株式会社 北浦製作所
		<p><b>○地下鉄駅の類型化に基づく避難行動シミュレーション</b></p> <p>増加、多様化するすすむ、地下空間の防災対策ではその閉鎖性により、災害時の行動を予測したソフト面からの対策が必要不可欠と考えられる。そこで、複雑系の解明に有効なセルオートマトン法を用いて、避難行動シミュレーションを行い、その有効性を示した。</p>	松田 泰治、 後藤 辰徳、 有岡 自然	熊本大学大学院
奨 励 賞		<p><b>○省力型消防ホース巻取機の開発</b></p> <p>消防ホースは操法訓練や火災消火後の巻き取りに時間がかかり、巻き取り時にホースに傷がつく等の問題があった。そこで、それらの問題を解消できる省力型消防ホース巻取機を開発したものを。</p>	徳永 匡是	日置市東市来方面湯田分団
		<p><b>○匂いセンサ搭載火災検知ロボットの開発</b></p> <p>火災による被害火災軽減のために、火災発生をごく初期の段階で発見する技術が重要である。そこで、室内ガスの吸引によるサンプリングと匂いセンサをロボットに組みこんだアクティブセンシングシステムの開発、及び匂いセンサ搭載火災検知・巡回警護ロボットを開発したものを。</p>	都甲 潔、 林 健司、 南戸 秀仁、 竹井 義法、 大藪多可志、 吉栄 康城、 岩崎 幸代、 李 丞祐、 山本 敏明	九州大学大学院 九州大学大学院 金沢工業大学大学院 金沢工業大学大学院 金沢星陵大学大学院 新コスモス電機(株) 榊テムザック 北九州市立大学 北九州市消防局